

## 29年10月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成29年 10月1日～ 29年10月10日

## 2. 調査実施方法

全国の合板工場-1に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
10月分の回答企業数は6社である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

## (1) 国産原木入荷動向 Weight. D. I.

品目		29/10月	11月	12月
入荷動向	スギ	10.0	12.5	0.0
	ヒノキ	16.7	0.0	0.0
	カラマツ	△ 20.0	△ 12.5	12.5
	トドマツ	0.0	0.0	25.0
消費動向	スギ	△ 10.0	△ 12.5	△ 25.0
	ヒノキ	0.0	0.0	△ 16.7
	カラマツ	0.0	0.0	0.0
	トドマツ	25.0	25.0	25.0
在庫動向	スギ	0.0	12.5	0.0
	ヒノキ	0.0	0.0	0.0
	カラマツ	△ 20.0	△ 12.5	12.5
	トドマツ	0.0	△ 25.0	25.0

・スギの入荷動向は10月、11月の増加から12月は横ばいに。ヒノキは10月の増加から11月、12月は横ばいに。カラマツは10月、11月の減少から12月は増加に。トドマツは10月、11月の横ばいから12月は増加に。

・スギの消費動向は3カ月連続減少。ヒノキは10月、11月の横ばいから12月は減少に。カラマツは3カ月連続横ばい推移。トドマツは3カ月連続増加。

・スギの在庫動向は10月の横ばいから11月は増加、12月は再び横ばいに。ヒノキは3カ月連続横ばい推移。カラマツは10月、11月の減少から12月は増加に。トドマツは10月の横ばいから11月

## (2) 合板用原木購入価格動向 Weight. D. I.

品目	29/10月	11月	12月
スギ	10.0	0.0	0.0
ヒノキ	0.0	0.0	0.0
カラマツ	0.0	0.0	0.0
米マツ	25.0	25.0	25.0
北洋カラマツ	50.0	50.0	50.0
その他	0.0	50.0	0.0

・合板用原木の購入価格動向はスギ、ヒノキ、カラマツとも保合い。

・米マツ、北洋カラマツとも強含み。その他(トドマツ)はやや強含み。

## モニターからのコメント

(原木荷動き)  
 ・スギ、カラマツとも安定した入荷になっている。消費は先月と変わらない。在庫は生産に合わせて入荷。  
 ・スギ、カラマツは在庫を見ながら入荷調整している。フロア台板の生産増に伴いトドマツの消費が増え、スギの消費が若干減る見込み。在庫は特に大きな変化なし。  
 ・入荷は冬場対策用としてカラマツを増量。カラマツ主体に消費。在庫は冬場対策用として少しづつ増やす。  
 ・当月はスギ材入替のため入荷が減少する。計画生産に添って消費。在庫は古材入替のため当月のみスギ丸太減少。  
 ・9月は入荷が減少した。10月以降価格も対応して入荷を増やす。11月(翌月)までは消費横ばい。12～1月(原木価格)  
 ・スギ、カラマツの原木価格は安定。北洋カラマツは値上り。  
 ・米マツは山火事に伴う伐採規制で現地在庫が低水準であること、船運賃の上昇により単価が上昇。北洋カラマツは出材減で強含み。  
 ・カラマツ、北洋カラマツとも高値にて推移。  
 ・ほぼ横ばい。  
 ・市場価格が高騰している。10月以降は購入価格を上げて入荷を増やしていきたい。

## 29年10月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 2

## 4. 調査結果の概要

## (1) 生産動向 Weight. D. I.

品目		29/10月	11月	12月
生産動向	構造用(9mm)	0.0	0.0	0.0
	〃 (12mm)	0.0	0.0	0.0
	〃 (15mm)	0.0	0.0	0.0
	〃 (24mm)	0.0	0.0	0.0
	〃 (28mm)	0.0	0.0	0.0
出荷動向	構造用(9mm)	0.0	0.0	0.0
	〃 (12mm)	8.3	0.0	0.0
	〃 (15mm)	8.3	0.0	0.0
	〃 (24mm)	8.3	0.0	0.0
	〃 (28mm)	8.3	0.0	0.0
在庫動向	構造用(9mm)	0.0	0.0	0.0
	〃 (12mm)	△ 8.3	0.0	0.0
	〃 (15mm)	△ 8.3	0.0	0.0
	〃 (24mm)	△ 8.3	0.0	0.0
	〃 (28mm)	△ 8.3	0.0	0.0

・構造用合板の生産動向は各品目とも3カ月連続横ばい推移。

・出荷動向は9mmは3カ月連続横ばい推移。その他は10月の増加から11月、12月は横ばいに。

・在庫動向は9mmは3カ月連続横ばい推移。その他は10月の減少から11月、12月は横ばいに。

## (2) 構造用合板出荷価格動向 Weight. D. I.

品目	29/10月	11月	12月
構造用(9mm)	10.0	0.0	0.0
〃 (12mm)	8.3	0.0	0.0
〃 (15mm)	8.3	0.0	0.0
〃 (24mm)	8.3	0.0	0.0
〃 (28mm)	8.3	0.0	0.0

・構造用合板の出荷価格動向は、11月、12月は横ばい推移。

## モニターからのコメント

## (構造用合板の荷動き)

- ・生産は、全品目多少の増減があるかもしれない。生産したものはすべて出荷する予定。もともと在庫は少なく品薄状態。
- ・フル生産継続中。各品目とも出荷は堅調。出荷堅調のため在庫は増えない。
- ・少量生産に付き変化なし。
- ・生産計画通り。消費・在庫ともはほぼ横ばい。
- ・生産はフル稼働で順調に推移。発注状況に合わせての生産となる。12mm、ネダノンともに流通からの引き合いは強い状態が続く。在庫は引き続き低水準悪ままで推移する

## (構造用合板の価格)

- ・9月からの値上げにより、徐々に上昇。
- ・9月に値上げしたため価格変動なし。
- ・変化なし。
- ・先月値上げを実施し、抵抗なく受けてもらっている。今月より価格は据え置き横ばいとなる。